

2016年度 第2四半期 決算説明資料

明豊ファシリティワークス株式会社

2016年11月8日



2016年度 第2四半期 決算サマリー



2016年度 第2四半期 決算サマリー

- ◆ 受注状況
安定的に推移
社内で管理する粗利益ベースでの受注高は前年実績を上回る
 - ◆ 通期売上高予想
前年実績より微増を予想
 - ◆ 通期経常利益、当期利益予想
当初予想通り過去最高益を僅かながらも増益予想
-
- ◆ 国土交通省が行う「多様な入札契約方式モデル事業」のアドバイザー業務について平成26年度から継続して受託
当事業年度も、香川県善通寺市庁舎建設事業を受託し、我が国における発注支援型CM方式の普及に取り組んでいる
 - ◆ 長野県塩尻市新体育館建設事業の受託候補者に選定される
-
- ◆ CM事業では、新規顧客からの引き合いが増加

2016年度 第2四半期 決算概要



1 2016年度 第2四半期 決算概要 ①PL

第2四半期はアットリスクCM案件の増加により、前年実績と比較して、売上高は増加し、売上総利益率は減少しております。

(各項目を円単位計算後、百万円未満切捨て)

	2015年度 2Q	2016年度 2Q	前年同期比較	増減率
売上高	2,288	3,041	752	32.9%
売上総利益	686	747	61	8.9%
売上総利益率	30.0%	24.6%	-	△5.4P
営業利益	160	161	0	0.2%
経常利益	152	153	1	1.1%
当期純利益	100	105	5	5.0%

2 2016年度 第2四半期 決算概要 ②BS

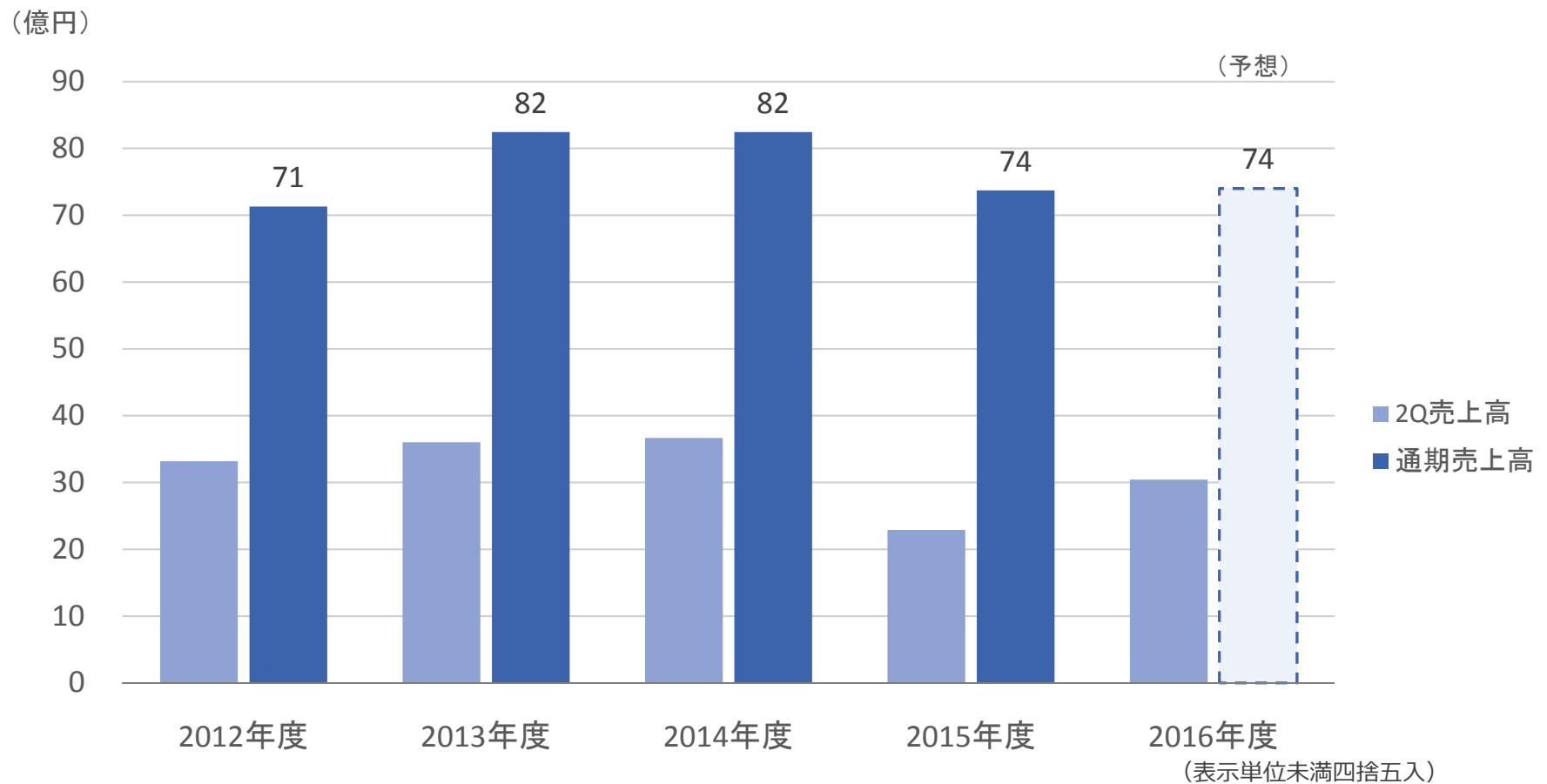
第1四半期で有利子負債の返済が終了し、無借金となっております。

(各項目を円単位計算後、百万円未満切捨て)

	2015年度末	2016年度 2Q	前年度末比較	増減率
資産	4,240	4,107	△132	△3.1%
（現金及び預金）	1,361	1,342	△18	△1.4%
（売上債権）	2,348	2,266	△81	△3.5%
負債	1,840	1,691	△149	△8.1%
（仕入債務）	762	842	79	10.5%
（有利子負債）	11	-	△11	△100.0%
純資産	2,399	2,416	16	0.7%
（新株予約権）	14	35	21	153.6%
（自己資本）	2,385	2,380	△5	△0.2%

3 売上高の推移

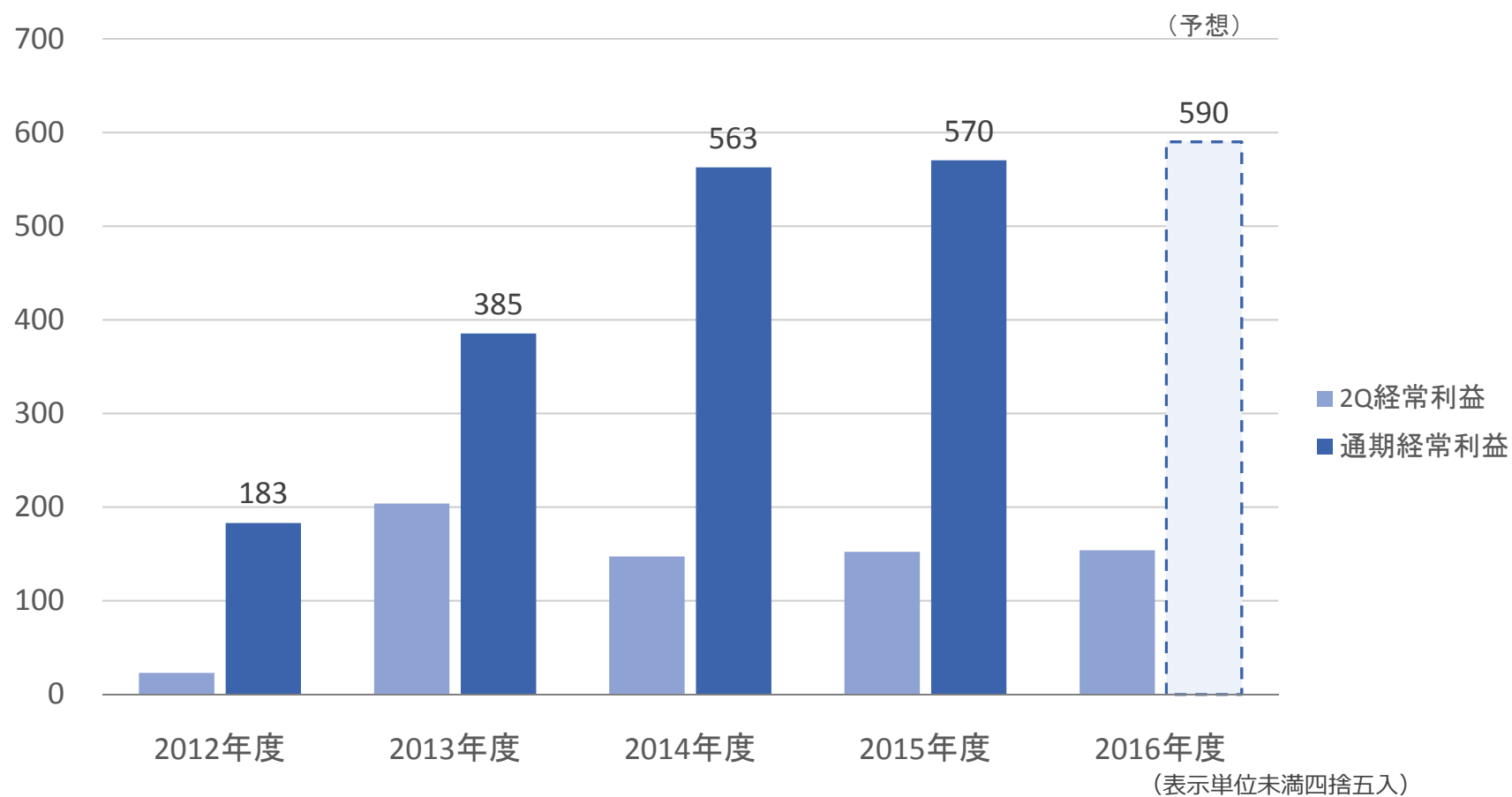
第2四半期の売上高は、アットリスクCM（工事原価を含む請負契約型CM）案件の出来高が増加したため、前年同期比で増加いたしました。



4 経常利益の推移

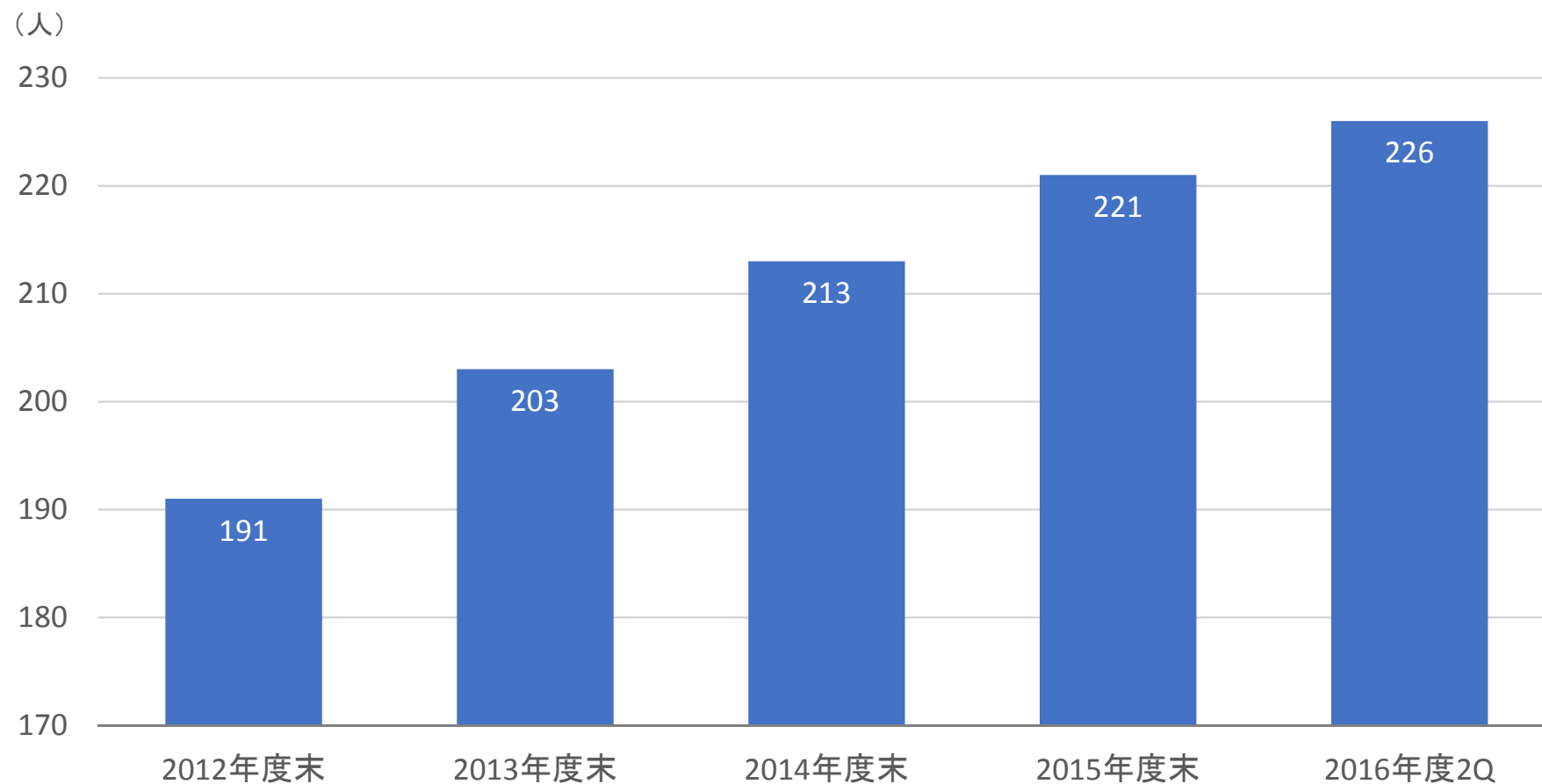
通期経常利益は、7期連続増益を目指しております。

(百万円)



5 社員数の推移

5名純増となる226名体制になっております。



(注) 役員および契約社員、派遣社員等を含む

6 売上粗利益の定義及び開示に関するポリシー

$$\text{売上粗利益} = \text{売上高} - \text{社内コスト以外の売上原価} \\ \text{(工事費、外注費等)}$$

当社の売上高は、フィーのみで構成されるピュアCM方式と、フィー＋調達原価で構成されるアットリスクCM方式とで、その金額が大きく異なります。

そのため、社内では売上粗利益〔売上高から社内コスト以外の売上原価（工事費、外注費等）を控除した金額〕にて収益の伸びを管理しております。

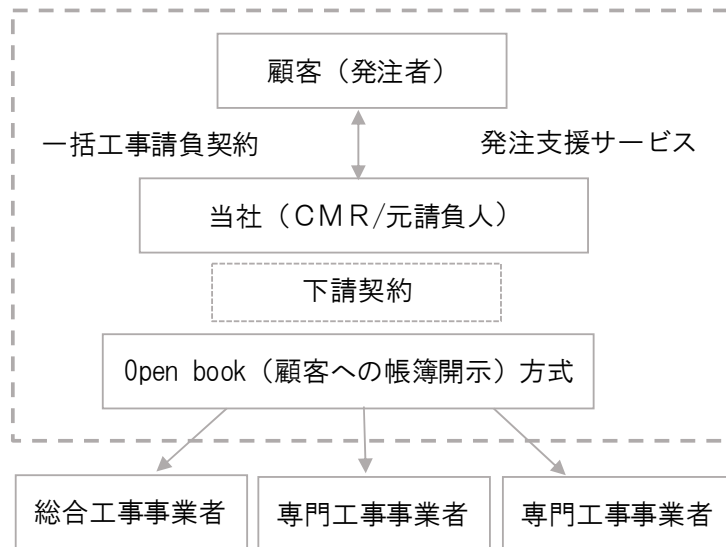
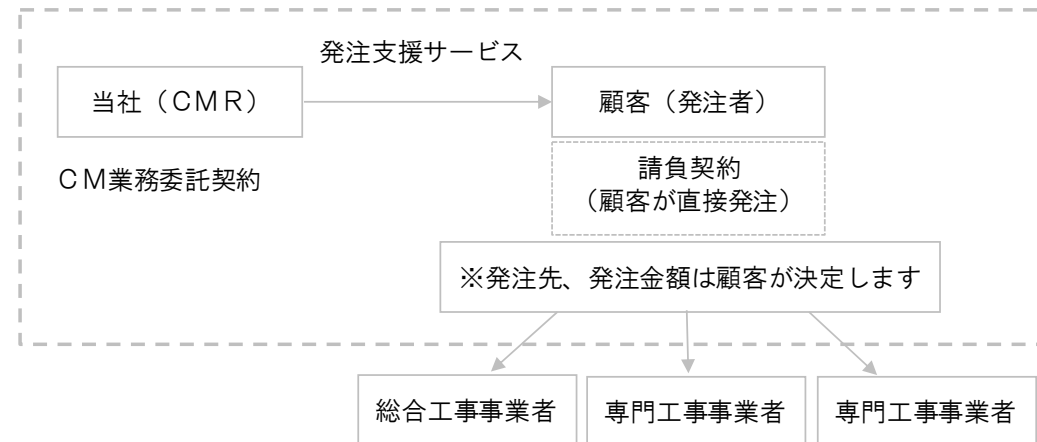
お客様との守秘義務契約を考慮し、今後もこれまで同様、売上粗利益の開示は控えさせていただきます。

7 ピュアCMとアットリスクCMについて

ピュアCM契約

顧客が施工会社各社と工事請負契約を締結し、当社は顧客とCM業務委託契約を締結する契約形態です。

当社はCM業務委託契約に基づくマネジメントフィーのみを売上計上します。



アットリスクCM契約

ピュアCM契約と同様に、当社は顧客に対してCM手法に基づくマネジメントサービスを実施します。この契約は、顧客が施工会社各社と工事請負契約を直接締結することなく、当社との間で、1本の工事請負契約を締結したいと望んだ場合に契約します。

当社は完成工事高（マネジメントフィーを含む）を売上計上し、その完成工事原価として顧客（発注者）の承認を得た下請工事原価を計上します。

2016年度 第2四半期 各セグメント状況



1 オフィス事業

- 日本国内における事業再編の動きが継続し、事業所移転など大型案件の需要が継続

－ 案件 －

-大企業における本社機能、グループ企業の統廃合、地方拠点の集約化

-先端企業による「新しい働き方」「多様な働き方」を実現する案件の増加

2 CM事業

- 民間企業からプロジェクト早期立上げ支援等、上流工程からの大型引き合い案件が増加
- 国土交通省が行う「多様な入札契約方式モデル事業」について当社が3年連続で受託
- 地方公共団体からのCM（発注支援）方式の実績を着実に積み上げ

－ 案件 －

- 民間企業の工場・研究所等の再編や、教育施設の新築案件が増加
- 長野県塩尻市新体育館建設事業CM業務委託（その1）の受託候補者に選定
- 大阪府立大学学舎整備事業 7年連続受注

3 CREM事業

- 多拠点に施設を有する顧客ニーズに合わせた当社の専門性およびマネジメント能力をご評価いただき、大企業からの発展的受注につなげている

－ 案件 －

- 大企業向けを中心に、保有資産の最適化をサポート
- 大企業が多拠点施設新築・改修・移転、同時進行プロジェクトを当社独自のシステムで効率的に進捗管理
- 複数の商業施設、オフィスビル等を保有する大企業から継続して受注
- 首都圏、近畿圏の金融機関から継続して受注

2016年度 業績予想



1 2016年度 通期 業績予想

10月20日に公表した業績予想からの変更はございません。

(各項目を円単位計算後、百万円未満切捨て)

	2015年度 通期	2016年度 通期	前年度比	増減率
売上高	7,372	7,400	27	0.4%
営業利益	645	630	Δ 15	Δ 2.3%
経常利益	570	590	19	3.5%
当期利益	374	400	25	6.9%
自己資本当期利益率 (ROE)	16.7%	16.8%	-	+0.1 P
1株当たり当期純利益	33.26円	35.39円	+2.13円	6.4%
年間配当金	10.00円	12.00円	+2.00円	20.0%



Meiho Facility Works Ltd.

Architecture, Interiors, Planning, IT, M&E Engineering, Project Management

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合がありますことをご了承ください。

